

宣言内容	①幡多地域における地域課題の解決・改善及び地域の価値創造を行う個人・団体・企業等の活動に対する助成の実施 ②幡多地域（四万十市・宿毛市・土佐清水市・黒潮町・大月町・三原村）の住民が集い、地域課題の可視化と解決に向けて話し合う「まちの作戦会議」を開催する
取り組み期間・時期	①助成・伴走支援：2024年度から実施中、2026年度からは新たに地域型クラウドファンディングが稼働中。 ②2023年2月から継続実施中。2026年度も年間を通じて随時開催予定（対面・オンライン併用）
取り組みの概要	○幡多地域で「困っている人を支えたい」「居場所をつくりたい」と考えるチャレンジャーに対し、資金的支援（助成金）と人的支援（活動相談・広報等の伴走）を一体的に提供する。さらに、地域型クラウドファンディングの仕組みを通じて各団体の活動を可視化し、地域内外の賛同者が寄付や応援を届けられるプラットフォームとして機能させることで、「支える人を支える」循環の仕組みを幡多地域に根づかせる。 ○過疎・少子高齢化などの課題を抱える幡多地域において、老若男女・エリアを問わず誰もが参加できる対話の場を定期的に設ける。孤独・孤立になりやすい個人や団体が「相談できる場」「地域とつながれる場」として機能させることで、支え合いの地域づくりの起点をつくる。 ・はじめの一步や学生の助成と伴走支援を3年間で10団体に実施 ・まちの作戦会議からパンとイロイロフェスが誕生 ・個人の助成申請を通じて地域に平日こども食堂が誕生し、活動継続中 ・助成金を使用したNPO団体が高齢者の独居世帯に対し、管理困難な民家・墓地などの草刈り等を実施し継続 ・大学生の空き家研究に対して助成し研究継続中 ・幡多地域密着型事業指定助成 HATAPATA 実施